

研 修 報 告 書

令和7年10月30日

会 派 名 改革の会
代 表 者 大熊博文様

会 派 名 改革の会
報 告 者 大熊博文

政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和7年7月16日
開 催 地	東京都新宿区リファレンス西新宿大京ビル
参 加 議 員 名	大熊博文
研 修 項 目	ライドシェアと自動運転の基礎と課題 交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資
当該研修への 参加動機・目的	久留米市の生活支援交通の現状は取り組みの手法が地域によって異なっているため、実情に適さない運営と思われるため、改善のヒントになればと思い受講した。
説 明 者	早稲田大学スマート社会技術融合研究機構・電動車両研究所研究院客員 准教授 井原雄人
説 明 内 容	コロナが与えた地域公共交通への影響、交通事業への支援と利用促進、 地域公共交通のリ・デザインとデータ活用によるアップデート、地域公 共交通に対する投資と参画 ライドシェア（相乗り）でできること、自動運転（による旅客事業）現 在地
研 修 の 成 果	「地域の足」がなくなる？交通空白解消セミナーと銘打ってあったので 受講したが、久留米市の生活支援交通の改善策としてのヒントには少し ずれていたように思った。久留米市の公共交通の手段はバスとタクシー であるが、自動運転やライドシェアを早急に取り入れることは難しく、 デマンドバスとコミュニティタクシー利用もさほど向上しない。交通空 白地帯の解消法として、頂いた資料の中から検索して久留米市という独 特な地域にあった生活支援交通の政策を考えていきたい。

研 修 報 告 書

令和 8 年 3 月 24 日

会 派 名 改革の会
代 表 者 大熊博文様

会 派 名 改革の会
報 告 者 大熊博文

政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和 7 年 1 0 月 21 日
開 催 地	東京都練馬区桜台 1 丁目 1 - 6 桜台ビル
参 加 議 員 名	大熊博文
研 修 項 目	防災・減災特別講座 1. 2
当該研修への 参加動機・目的	久留米市は多年にわたり災害にみまわれているため議員としてどのような対応をすべきか、またどのような救済制度があるのかを研究するため
説 明 者	地方議員研究会 統括コンサルタント 川本達志
説 明 内 容	防災対策基本法について、消防団について、自主防災組織について、ボランティアの受け入れについて、過去の災害から学ぶ、土砂災害に備えるために必要なこと、地震・津波対策について、国からの財政措置、議会・議員がなすべきこと
研 修 の 成 果	自治体の役割は、予防対策（防災計画、施設の強度化、訓練、避難計画）応急対策（対策本部設置、避難指示、避難施設）復旧対策（復旧本部、生活援護、救援物資）が基本となる。災害にはいろいろなものがあるが久留米市で考えられる災害は地震、風水害、土砂災害が主なものである。地震や土砂災害は前触れもなく突然に発生するものであり、これまでの経験を生かして予防対策をしなければならない。風水害については、ある程度事前に災害が起こりうることを予期できるが想定外の事もこれまで発生してきた。議員として三つの対策に対応できるべく防災士の資格をいただいているが具体的な内容を研修資料に基づいて、議会全体と行政と連携して取り組まねばならないと強く感じた。

研 修 報 告 書

令和8年3月31日

会 派 名 改革の会

代 表 者 大熊博文様

会 派 名 改革の会

報 告 者 大熊博文

政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和8年3月31日
開 催 地	東京都新宿区リファレンス西新宿大京ビル
参 加 議 員 名	大熊博文
研 修 項 目	介護保険制度の財源と給付のあり方と地域包括ケアシステム 医療保険制度の財源と給付から検証する地域・世代・保険者間格差
当該研修への 参加動機・目的	介護保険については、高齢化する現状で今後を考えると制度の不安から参加した。 医療保険については国民健康保険料が年々増加していることへの不安から参加した。
説 明 者	甲南大学 足立泰美
説 明 内 容	介護保険を取り巻く状況、介護保険制度の概要、地域包括ケアシステムの構築について、介護離職者の現状、介護期の両立支援制度、2040年に向けたサービス提供体制。 我が国の社会保障制度（社会保障財政、一般会計と特別会計）医療保険制度（我が国の医療体制、財源と給付）制度の持続可能性（国民健康保険制度、広域的予防対策、医療提供体制の効率化
研修の成果	久留米市は介護施設の充実と医療施設の充実は誰しも知るところであるが故に、介護保険料や医療保険料が高額化しているように思えます。介護保険は3年ごとに見直しをしているが、確実に保険料があがっている。医療保険にしても高齢化が進む久留米市が今後、両制度の維持をしていく上で、今回頂いた資料は現状の理解と今後の取り組むべき対策について、多くのデータと考察すべき将来について大変参考になりました。医療のまち久留米が、行政と議会が政治として真剣に取り組むべきと思います。